

1992年10月8日

## ディケンズ・フェロウシップ日本支部

さる10月3日(土)に、新年度(1993年度)のディケンズ・フェロウシップの総会が、東京女子大学の善福寺キャンパスで開催されました。

1. 総会は小池滋支部長の司会で、総会に先立って開かれた理事会で作成した原案によって議事が進められ、原案は全会一致で承認されました。議事の内容は以下の通り。

a. 会計報告(同封報告書参照)

会費収入に比して支出総額が約13万円超過していますが、経営努力をさらに重ねることで、1993年度の会費も6,000円に据え置くこととなりました。経費節減のためのご提案を歓迎いたします。

b. 本年度のディケンズ・フェロウシップ春季大会は、以下の通りに決まりました。

日時: 1993年6月5日(土) 午後二時から

会場: 新潟大学

同大学の金山亮太氏が世話役です。内容は追ってお知らせいたしますが、皆様のご参加をお待ちしています。研究発表のご希望やその他のご提案があれば、できるだけ早く支部までご連絡ください。

c. 役員理事改選の時期に当たりますが、全員がそのまま引き継ぐことになりました。

d. 「会報」への投稿を歓迎します。詳細は会報担当理事までお問い合わせください。

2. 総会プログラム

まず山本史郎氏の司会で、Angus Collins氏の“Orwell's Dickens”と題する講演があり、オーウェル独自のディケンズ観がよく紹介されました。次に、北條文緒氏の司会で、Robert Golding氏によるReadings from Dickensを聴きました。コックニーと伝統的な英語を自在に交えた朗読に一同陶醉。講演の要旨は次号の会報で報告します。参加者36名。

その後の懇親会には約30名が西荻窪の「こけし屋」に集まりました。余興として、*Drinking with Dickens* から“Smoking Bishop”と“Atholbrose”が供され、大好評。

3. 連絡事項

a. 「会報」(第14号)を同封しました。また本部から *Dickensian* の第二号が届きましたので、92年度会費納入者には同封してあります。総会参加者には当日配布。

4. 会費納入のお願い

フェロウシップの会計年度は十月に始まります。本部で年三回発行の *Dickensian* の購読予約数は、会費を納入された方の数で、来年早々に一括して本部に送金しますので、納入が遅れると申し込みの時期を失することになります。同封の振替え用紙で、くれぐれもお忘れなく、いまずくご送金をお願いします。総会当日納めた方は、この件はご放念ください。

では、またお会いする日を楽しみに。